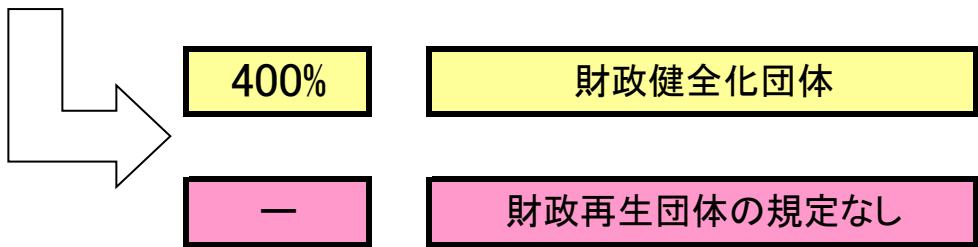


将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき
実質的な負債の
標準財政規模に対する比率

地方債残高や債務負担行為に基づく一定の支出に加え、
従来 of 決算になかった退職給与引当金等を負債と見なし算出



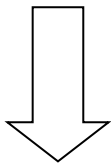
熊本市の将来負担比率

将来負担比率	=	将来負担額 (地方債残高・退職給与引当金等)	—	・充当可能基金額 ・充当特定財源見込額 ・基準財政需要額算入見込額
		標準財政規模 (臨時財政対策債を含む)	—	基準財政需要額算入額

$$\frac{476,592 \text{ 百万円} - 305,331 \text{ 百万円}}{160,525 \text{ 百万円} - 20,632 \text{ 百万円}} = 122.4\%$$

* 参考: 平成25年度決算

$$\frac{464,012 \text{ 百万円} - 292,548 \text{ 百万円}}{159,765 \text{ 百万円} - 19,861 \text{ 百万円}} = 122.5\%$$



早期健全化ライン (400%) を下回っている